

## 調査票A

### 新しい学校づくりに関するアンケート調査のご協力をお願い

宇陀市学校適正化推進委員会  
委員長 山本 敏久

「宇陀市の教育の未来を考える」この思いを胸に、私たち宇陀市学校適正化推進委員会（以下、「推進委員会」という）は、宇陀市の子どもにとってよりよい学校、魅力ある学校とは何かを考え、議論を進めているところです。

全国的に少子化が進み、これまでの学校の在り方を続けていくことが難しくなっています。私たち推進委員会は、宇陀市の未来を担う子どもたちはもちろんのこと、地域にとっても魅力ある学校づくりになることを願って、新しい時代にふさわしい学校について議論を重ねてまいります。

このアンケートは、宇陀市の新しい学校づくりに、市民の皆様の意見を参考にさせていただくために、ご協力をお願いするものです。このアンケートの回答は、上記の目的以外に使用することはありませんので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### <記入上の注意>

このアンケート用紙またはスマートフォン、パソコンいずれかの方法で**1回のみ**回答いただきますようお願いいたします。

#### 1 このアンケート用紙による回答

回答は、( ) 内に指示がある場合を除き、1問につき一つだけ番号を○で囲んでください。また、記入いただいたアンケート用紙は、お子様を通じて2月22日（水）までに学校または園に届けていただきますようお願いいたします。（複数のお子さんを市内の学校、園に通わせている場合は、いずれかの学校、園に届けてください。）

#### 2 スマートフォンによる回答

右のQRコードにより、回答いただきますようお願いいたします。



#### 3 パソコンによる回答

インターネット上で、ブラウザの検索窓に「<https://forms.gle/SgoA9js5s96pqZ9k6>」を入力し、表示された画面から回答いただきますようお願いいたします。

アンケートへの回答は、**令和5年2月22日（水）まで**にお願いいたします。

お問合せ先：宇陀市教育委員会事務局 教育総務課 ☎0745-82-3973

## 1 基本情報について

問1 あなたのお住まいの地域をお答えください。

- 1 大宇陀      2 菟田野      3 榛原      4 室生

問2 あなたの年齢をお答えください。

- 1 10歳代      2 20歳代      3 30歳代      4 40歳代  
5 50歳代      6 60歳代      7 70歳以上

問3 現在、あなたには保育園・こども園・幼稚園や小・中学校等に通うお子様がいますか。

- 1 いる      2 いない

問4 問3で「1」と答えた方に伺います。あなたのお子様に通っている学校、園をお答えください。(複数の学校、園にお子様を通わせている場合は、該当する学校、園に○)

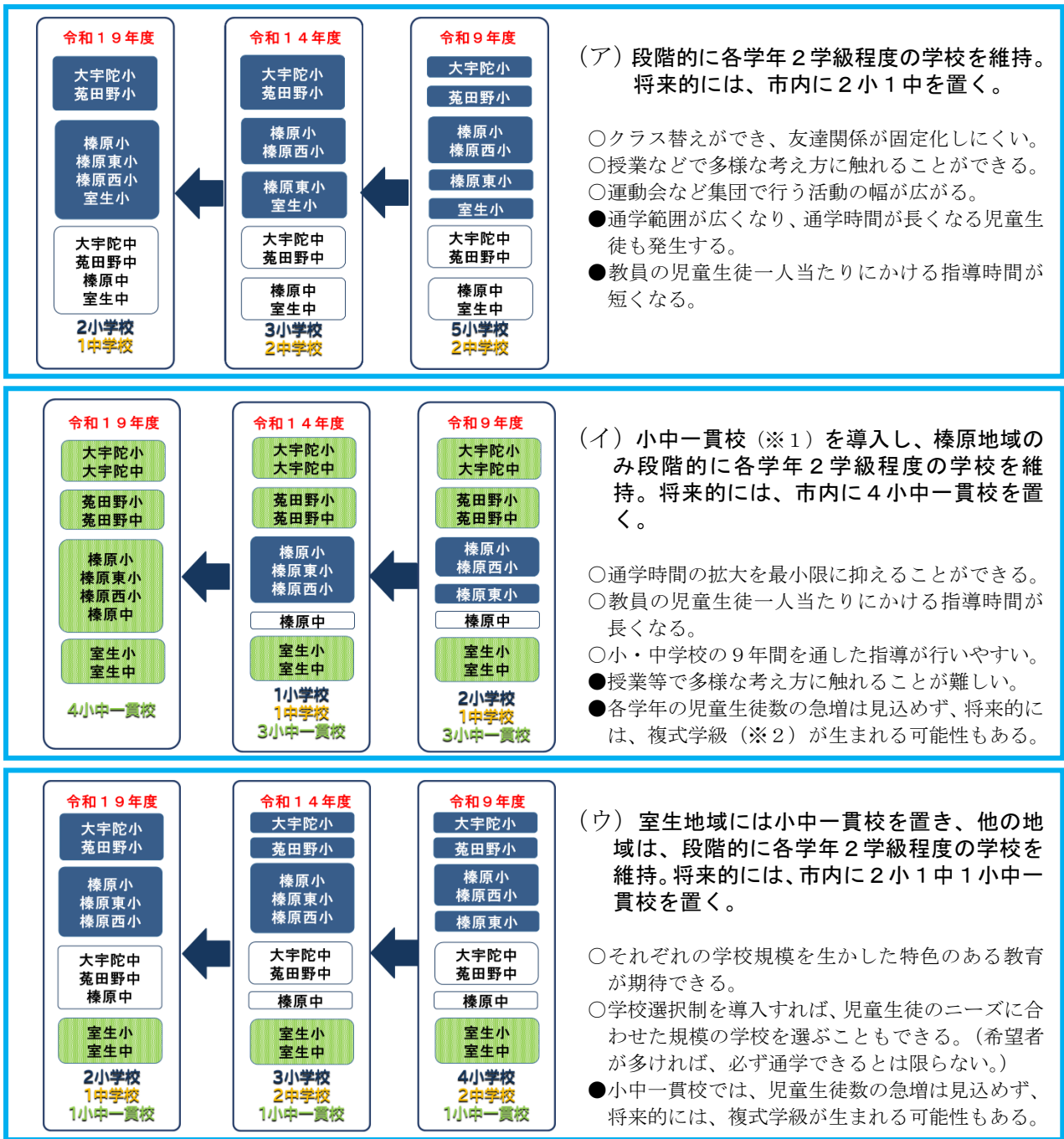
- 1 榛原幼稚園      2 榛原東幼稚園      3 大宇陀こども園  
4 菟田野こども園      5 室生こども園      6 榛原北保育園  
7 しらゆり保育園      8 大宇陀小学校      9 菟田野小学校  
10 榛原小学校      11 榛原東小学校      12 榛原西小学校  
13 室生小学校      14 大宇陀中学校      15 菟田野中学校  
16 榛原中学校      17 室生中学校      18 市外の保育園・こども園・幼稚園  
19 市外の小・中学校・中等教育学校

## 2 新しい学校の姿について

問5 あなたが新しい学校に期待する教育内容について、次から選んでください。(3つ以内に○)

- 1 子ども同士が刺激し合って、学力や体力などを高め合うこと  
2 子ども一人一人に合わせたきめ細かな教育を受けること  
3 社会性や協調性、コミュニケーション能力を身に付けること  
4 たくさんの友だちや先生と触れ合うこと  
5 地域のよさを生かした特色のある教育  
6 部活動やクラブ活動の内容や数の充実  
7 小学校と中学校の区別のない9年間を通した教育  
8 その他(上記以外に期待する教育内容がある場合は、下の□の中に簡潔にご記入ください。)

現在、推進委員会では、新しい学校の姿として、次の（ア）～（ウ）の3つの案を軸に議論を進めているところです。



※1 「小中一貫校」…小・中学校の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた系統的な教育を目指す学校のことを言います。小学校教員が中学校教員を、中学校教員が小学校教員を兼ねることにより、小学校における教科担任制など柔軟な指導体制を組むことができます。

※2 「複式学級」…2つの学年の児童数が合わせて16人（第1学年を含む場合は8人）以下となれば、2つの学年で1つの学級とすることが法律で定められています。このことにより、複式学級では、基本的に一人の学級担任が、2つの学年の学習指導等を受け持つことになります。

（詳しい説明については、右のQRコードからご覧ください。）



問6 問5で選んだ教育活動を進める上で、どの案を中心に考えることが適切だと思いますか。

1 (ア)      2 (イ)      3 (ウ)      4 その他（上記以外に新しい学校の姿としてふさわしいものがある場合は、あとの□の中に簡潔にご記入ください。）

問7 小中一貫校として小規模校を維持する場合、少人数を生かした魅力ある教育を行うために必要な1学級当たりの子どもの数は、最低何人くらいだと思いますか。

- 1 1～5人      2 6～10人      3 11～15人      4 16～20人

### 3 学校選択制について

学校選択制とは、教育委員会が保護者や子どもの希望に基づいて、通う学校を指定する制度です。推進委員会では、子どものニーズに合わせて学校を選べる学校選択制の導入についても議論しています。

問8 将来、規模の異なる小・中学校の中から、あなたのお子さんやお孫さん等を通わせる学校を自由に選ぶことができた場合、通わせたい学校は次のうちどれですか。

- 1 規模に関係なく、できるだけ通学時間のかからない自宅の近くにある学校
- 2 通学時間は伸びても、個に応じたきめ細やかな教育などが期待できる比較的人数の少ない学校
- 3 通学時間は伸びても、子ども同士で切磋琢磨<sup>せつさたくま</sup>する教育などが期待できる比較的人数の多い学校

ご協力ありがとうございました。